

京都市考古資料館特別展示

平安京を
見る

◆平安京復元模型(京都市歴史資料館蔵)

入館無料

期間

令和3年 7月10日(土) ▶ 11月21日(日)

場所

京都市考古資料館1階特別展示コーナー

【休館日】月曜日(祝日の場合は開館、翌平日が休館) 【開館時間】午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

※新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、人数制限や内容を変更する場合があります。

主催

京都市・京都市考古資料館
公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所

後援

歴史街道推進協議会



京都市考古資料館特別展示

平安京を つくつくる

平安京を

期間 令和3年 7月10日(土) ▶ 11月21日(日)

桓武天皇による平安京の造営は、現在の京都の礎（いしづえ）を築いた大事業でした。新しい都の建設には、設計・施工に最新の技術が用いられ、真っすぐに伸びる街路、宮殿・役所・邸宅が建ち並ぶ整然とした街並みは、当時の人々の目を驚かせたことでしょう。しかし、時の流れの中で、平安京は使いやすさのための改造や経年による損傷の修理が行われ、やがて造営当初の姿から変容していきました。

今回の展示では、平安時代前期から中期にかけての平安京の造営、改造と再建、修理をテーマに、令和元年に初めて発見された羅城の遺跡、平安宮内のさまざまな施設、平安京城の役所や東寺・西寺などの最新の調査成果を紹介します。また、このたび京都市の有形文化財に指定された小野瓦窯跡出土品をはじめ、平安京の造営と修理に不可欠であった瓦窯の遺跡や生産・供給の仕組みについて解説します。皆さんのご来館をお待ちしています。

【展示内容の一部】

◆平安京の造営と構造

平安京の街路と条坊制

平安宮内・平安京城の役所の調査と出土品

東寺・西寺の調査と出土品

「新発見！」羅城の調査と出土品

◆平安京の造営と瓦生産

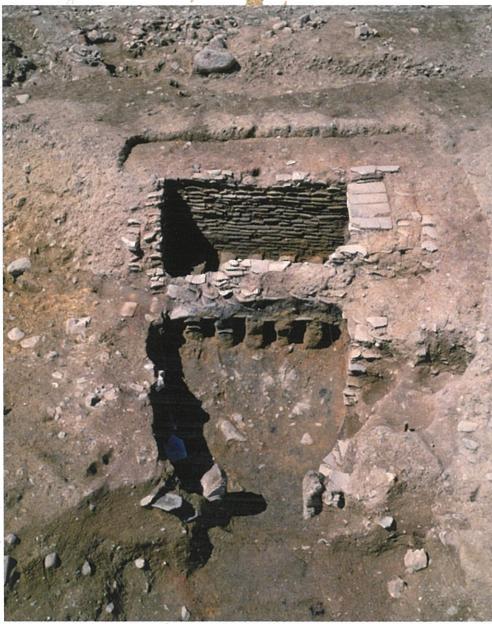
大山崎瓦窯跡【国指定史跡】と出土品

上ノ庄田瓦窯跡と出土品

小野瓦窯跡と出土品【京都市指定有形文化財】
瓦窯の構造模式図



◆小野瓦窯跡出土品(平安時代中期)



◆上ノ庄田瓦窯1号窯(平安時代前期)

京都市考古資料館

京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1

交通／市バス：「今出川大宮」下車すぐ「堀川今出川」下車西へ2分

TEL: 075-432-3245 FAX: 075-431-3307

<https://www.kyoto-arc.or.jp/museum>

